



5月25日(土) 教育情報センター
壊れたおもちゃ治療します

「知識と経験を生かしたい」と、60歳70代の男性ボランティアが準備を進めてきた「村上おもちゃの病院」がオープン。16人の新米ドクターたちが、やや緊張しながらも次々と持ち込まれるおもちゃを治療していました。今後は月1回の開院を予定しています。

夕日と波を花でかたどって砂山地域をアピール

5月26日(日) 砂山地域まちづくり協議会



約80人の参加者が地域のまちづくり事業として、荒川右岸旭橋付近の堤防にペゴニアなどの花苗2,600株を植えました。これは、夕日や波を花でかたどって地域をアピールしようというもので、夕日をオレンジ色、波を白色、文字を赤色の花で表現。約1時間をかけて完成させました。

市内で初めて乗用型茶摘機を導入

5月29日(水) 羽下ヶ淵茶畑



市内では初となる乗用型茶摘機での新茶の摘み取りが行われました。収穫作業の効率が大幅に上がること、機械で均等に刈り取ることで芽の伸びが揃い品質が均一化し、収穫量も増えることなど、導入の効果に関係者は大きな期待を寄せています。

むらかみの話題

このコーナーは、市内の協働の取り組みや話題・活動などを紹介します。

5月26日(日) 新緑のお幕場茶会
 お幕場森林公園



村上市の初夏を迎えるイベント「お幕場茶会」が開催されました。当日は五つの茶席が設けられ、5月のさわやかな陽が差し込む松林の中、1700人の来場者がお茶を楽しみました。

スローフードフェスタinさんぼく2013夏 開催

6月2日(日) さんぼく会館



今年も夏のスローフードフェスタinさんぼくが開催されました。山北の食材を使って地元の女性たちが調理する山北の「ごっつお」に参加者は大喜び。毎回参加しているという新潟市の人「食材は新潟でも手に入るけど、自分では作れない、山北ならではの味が楽しめるので、毎回楽しみにしています。」と話してくれました。秋にまた開催する予定です。

6月2日(日) 日ごろの利用に感謝

あらかわ総合運動公園



「自然とのふれあいとボランティア」が開催され、日ごろ運動公園を利用しているスポーツ団体をはじめ、多くの地域ボランティアの皆さんが集まり、公園内の草取りやゴミ拾いなどを行いました。参加者は、さわやかな風が吹く最高のコンディションの中、早朝から心地よい汗を流しました。

集落の魅力再発見！「歴史を学ぶ会」開催

6月2日(日) 海老江集落



「海老江盆踊り保存会」が、郷土史に詳しい佐藤和一郎先生を講師に招き「海老江の歴史を学ぶ会」を開催しました。当日は、親子連れなど約40人が参加し、集落周りを探索。普段何気なく生活している集落内に眠る石仏や観音像、記念碑など多くの「歴史」と触れ合いました。江戸時代には、北前船の寄港地として栄えた海老江集落ですが、主催した保存会では今後、北前船まつりを計画するなど、郷土の歴史を活かして集落の活性化を図っていく考えです。

利用団体が草刈りなどを実施

6月2日(日) 朝日多目的グラウンドほか



中学校サッカー部やソフトボール協会・スポーツ少年団など、日ごろ屋外体育施設を利用している団体が、グラウンドや野球場などの草刈り・除草作業を行いました。午前6時にボランティア150人が作業に取り掛かり、スポーツを愛する人たちにより1時間半ほどで各施設ともきれいになりました。

1000人の人で大賑わい

6月9日(日) ゆり花会館



初めて同一会場で行われた「福祉まつり」と「さんぽく軽トラ市」。訪れた人たちは、アトラクションなどを楽しみながら、たくさんのバザーの品物や16台の軽トラックに満載された海の幸や山の幸を買い求めていました。来場者からは、「福祉に関わる大勢のボランティアの輪の広がり」と、地域活性化にける軽トラ市出品者の熱意に感動した。」という声が聞かれました。

日東道延伸。地域の活性化に向けて
6月7日(金) 朝日みどりの里体験交流センター



日本海沿岸東北自動車道の開通がもたらすさまざまな効果を生かして地域づくりを推進しようとして、区長会や関係団体などで構成される「朝日地域活性化促進協議会（会長石嶋修平氏 会員36人）の設立総会が開催されました。総会で石嶋会長は「この機会を逃すことなく地域を活性化すると豊富を力強く語りました。」